

◎魚津市立「住吉保育園」民設民営化等にかかるスケジュール（案）

H28年度	H29年度		H30年度	H31年度	H32年度
3月	4月～10月	11月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～7月 8月～3月
<p>◇目的 公共施設の再編 民間活力の活用</p> <p>○協議・方針決定等</p> <p>①少子化対策推進庁内会議</p> <p>②子ども・子育て会議 (3/23開催)</p> <p>③市議会(民生委員会等) への報告等</p> <p>④魚津市民間保育連盟 との協議</p> <p>○慶野市営住宅取り壊し (所管:都市計画課)</p> <p>○保護者・地元説明会</p>	<p><参考・H29.10.1現在> ○住吉保育園(定員80名・利用定員50名・在園児数44名) 0歳0名・1歳4名・2歳10名 3歳7名・4歳11名・5歳12名 ○私立保育園5園・平成28年4月より認定こども園化</p>		<p>※魚津市子ども・子育て支援事業計画(平成27年3月策定) 計画期間 平成27年度～平成31年度(5か年)</p> <p>現『子ども・子育て支援事業計画』の見直し年度であり、記載されている内容である「H32.4月以降園児数10人以下となる園の休園検討・経田保育園の認定こども園化など」や時代の変化に対応した施策など、十分精査する必要あり</p>		
	<p>[適時開催] (1/22庁内関係課会議)</p> <p>[適時開催] (7/21開催) (1/31開催)</p> <p>[適時] (12/18民生委員会)</p> <p>[適時] 10/17 施設長会 12/27 私立施設長会 2/21 施設長会</p> <p>正式協議・公募・覚書等の締結・詳細協議</p> <p>○新園の規模・概算建設費用等 ○民間法人資金状況 ○引継ぎ内容等 ○H31年度国県等補助金等</p> <p>団地取壊し・敷地整備</p> <p>●新園舎建設等に支障がでないよう適切に対応 ●取り壊し費用(平成30年度当初予算計上)</p> <p>◆保護者説明会(H30.1/22開催) ・公立から私立へ移行することについて意向確認 ⇒事前アンケート調査の実施(12/5～12/14) ・住吉保育園の民営化(現在地で民間が建替え) 民設民営+認定こども園化 ・住吉保育園にそのまま在園しながら新園を建設</p> <p>◆地元説明 ・保護者への説明事項と同内容を基本に説明</p> <p>◆地権者説明 ・保護者及び地元への説明事項と同内容を基本に説明</p>		<p>施設建設・認定こども園の認可(引受先) 必要に応じ 引継ぎ保育・共同保育等の実施</p> <p>■補助等(案)</p> <p>◆H32.4月開園を目指す 「魚津西部認定こども園(仮称)」建設等に対する補助金等について、H31当初予算計上し、国補助申請等手続きを実施予定。</p> <p>①活用できる補助金として… ⇒保育所等整備交付金 ⇒補助基準額の国1/2+市1/4=3/4 ※ただし、定員数等により国交付基準額が変動します。基準額を超える部分の建設費は民間法人の負担となります。 (具体的なシミュレーション:別紙参照)</p> <p>②民設民営化するにあたり、市でその土地を事前に購入するなど、民間保育園に土地の無償貸付等を行い、民間保育園の経営的負担を少しでも軽減することも検討 この場合 敷地の境界確定測量必要 ⇒所要額 約1,595千円(H30年度予算対応)</p> <p>③住吉保育園の敷地の一部に民有地あり 面積76㎡・年間借地料39,715円 課税標準額708,806円 固定資産税額11,340円 購入する場合(概算費用) ⇒708,806円×110/70≒1,114千円</p> <p>④旧住吉園舎取り壊し(市施工)及び整地・遊具等の設置等園庭整備(民間法人施工)にかかる必要額、若しくは補助金額⇒H32当初予算計上予定(取り壊しにかかる補助は現在未定) 取り壊しにかかる概算費用 ⇒20,000円/㎡×634.67㎡≒12,700千円 +アスベスト対策費用</p>		<p>民間による新設「認定こども園」として平成32年4月教育・保育開始</p> <p>旧園舎の取り壊し及び園庭整備(7月末頃まで)</p> <p>■将来計画</p> <p>施設の老朽化を勘案しながら、園児数の推移・特別保育のニーズ等を十分踏まえ、併せて、地域における子育て支援サービスの充実に努めながら、H32年度以降、「魚津市学校規模適正化推進計画(計画期間満了=H35年度)」も踏まえながら、新『子ども・子育て支援事業計画』に沿った公立保育園の統廃合・民間活力の活用などによる適正配置を順次進める。</p> <p>平成29年10月30日、魚津市民間保育連盟からも魚津市長に対し、「利用園児数が10名以下の保育園を閉園する等、公立保育園を計画的に削減し、民間児童福祉施設をこれまで以上に活用することを勧めてもらいたい」との要望も提出される。</p>
	<p>慶野団地入居者 移転補償交渉・移転</p> <p>退去完了(平成29年10月末)</p>				
	<p>■整備の必要性等</p> <p>『魚津市子ども・子育て支援事業計画』において、保育園は少子化に伴い、園児数が減少していく見込みの中、園児数に対し、保育園等の数が過剰となることが予想されており、保育園の適正配置等が必要であると位置付けている。 平成32年度以降で、園児数が10人以下となった園は休園を検討することとしているが、議会等からは、早期の適正配置を含めた計画の見直しを求める意見あり。(園児数見込みH27:1,513人⇒H31:1,334人・約11.8%減) 「公共施設のあり方に関する提言書」においても民間活力の活用がうたわれており、今後の教育・保育サービスの充実を考えても、民間による保育園等の運営を検討していく必要がある。 このような現状を踏まえ、住吉保育園については、園舎が老朽化していることから、現在地での改築による民設民営での認定こども園化を図り、教育・保育を一体的に提供できる環境の整備を推進する。</p>				